

《 就任にあたって 》

田中野田老人会長 和氣 勇

去る4月30日に田中野田公会堂において、田中野田老人会白寿会の総会がありその席上、会長の和氣庸夫氏が健康上の理由で辞任され、後任に私が選出されました。

何分私も耳も遠くなり、この大役が動まるかどうか不安でございますが、お引き受けした以上、会員皆様方の期待に沿うように頑張りたいと、決意を新たにしております。

一口に老人会と申しましても、明治生まれから大正・昭和生まれまでおられ、年齢的にも体力的にも多様であります。しかし共通して言えることは、現在、世界有数の経済大国になった基礎を支えた世代であった、と言う事ではないでしょうか。

昭和の初期は大変な不況の時代、今では考えられないような、仕事をしたくとも仕事が無く街には失業者があふれる時代。

その後、支那事変・大東亜戦争突入期の時代、物資も無く、衣料・食糧も配給という暗い時代。

そして敗戦を迎えましたが、何一つ不平も言わず、一生懸命馬車馬の様に頑張ってきた様に思います。

こうした、激動の時代を生きた世代であることを誇りとし、又その時代の歴史を後世に伝える証人として、更に力強く生き続けなければ・・・と考えております。

我国は人口の高齢化が進み、高齢者に対する福祉も徐々に充実している様子ですが、行政にたよるばかりでなく、我々自身が常に精神や体の健康に気をつけ、少しでも社会や地域に役立ち続けるように心がけるべきではないでしょうか。

未加入の方々にもぜひ参加していただき、白寿会を更に充実したものへと育てていきたいと思っております。

最後になりましたが、町内会の皆様方、今後ともより一層の御支援をお願い申し上げます。

追伸 監査の吉岡 清氏死亡に伴い、後任に和氣太志氏にお受け頂いたのでご報告します。

回顧15年(その1... 昭52-56年)

中尾 佐之吉

私が、田中野田町内会長に就任したのは昭和52年である。したがって、平成3年の今年で在任15年目を迎えることになる。そして、私自身満74才になった。来年は75才である。もうこのへんで「停年」(一般には「定年」という字をつかうが、私の場合はこの字をつかわせてもらう。)ということにしてもわねば、私の老後の自由な人生がなくなってしまう。また、一人の人間がこう永く続けていては、町内の活力をそぎマンネリになつては申し訳ないわけので、この一年を最後と考えたい。

そこで、過ぎ去った15年を3回に分け簡単に振り返って見ることにし、皆さんへの申し送りとしたのである。

第1回では、52年度から56年度の5年間を第1期としてとりあげる。

第1期 町内会役員

Table with columns for year (年度), position (役職), and names for periods 52-54 and 55-56.

注1 52-54年度は、任期3年であつた。
注2 55年度から、組分けがおこなわれ、新会則により理事・監事制が採用された。また役員任期も2年となる。(9組は当時なし)

町内会年次別支出額(第1期関係) 金額 円

Table showing annual expenditure for various categories like safety, group support, etc., from 1952 to 1956.

注1 53年度では、別途寄付金等により148万円の経費で公会堂を修繕する。

注2 56年度では、別途寄付金等により83万円の費用でグラウンド(辰巳西公園)の整備をした。

注3 当時の世帯数は、昭和52年で183、56年で219であつた。

第1期のこの期間を総括して言えば、町内会運営での模索の時期でもあつたが基礎づくりの期間でもあつたといえるのではなからうか。

集会所の整備によって、各種団体の会合にも盛んに利用されるようになった。また、町内専用のグラウンドを持つことになって、ソフトボール同好会も生まれ子供のソフト・ボートの練習競技場として活用され始めるのである。

「こどもみこし」が、秋祭りに町内を練り歩くようになったのは、昭和55年からである。



「空き缶」のリサイクルにご協力を

捨てられているゴミを資源として再利用しようというリサイクル運動が全国に広がっています。

町内でも福祉センターとタイアップ、このリサイクル運動の一環として、家庭にある「空き缶」(アルミ缶・スチール缶)を、一般の燃えないゴミとは別に回収して再利用にまわすことにしようと思ひます。

具体的にはつぎの仕組です。ご協力のほどよろしくお願ひします。

「空き缶」回収要領

- 1. 毎週火曜日と金曜日(雨天を除く)、つぎの3カ所に「空き缶」入れのカゴを用意する。皆さんからは、その日の朝9時までにそれへだしていただく。

「空き缶入れカゴ」設置場所 責任者

- ☆ 田中水門(御南中北) 白石末広
☆ 和氣勇さん宅北の道路 和氣勇
☆ 町内会長宅納屋の南空き地 中尾佐之吉

- 2. 出された「空き缶」は、当日福祉センターの方に引き取ってもらう。
3. 空き缶を「燃えないゴミ」として今までどおり、ゴミステーションへ出されてもよい。



編集後記

いつもながら発行時期がせまると、どうしようかと心配する。幸いこの号では多くの方から寄稿していただき助かった。とくに、堤さんから「OB通信」を寄せていただき感謝します。「田中野田」を忘れてないぞとの便りが大変嬉しかった。転出された方にも、よき思い出が残るような田中野田町内でありたいのです。

この度も新聞発行にあたって、上中田さんはじめ多くの方々のご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。(中尾)